

[平成19年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

宇都宮大学大学院国際学研究科博士後期課程

注2

国際学研究専攻設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 宇都宮大学
平成21年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	
職名・氏名	ソウム カホウキカカリョウ イワサキ ヒロシ 総務課法規係長 岩崎 浩
電話番号	028-649-5011
（夜間）	028-649-5011
F A X	028-649-5026
e-mail	syosoumu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可申請時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部を設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

大学院設置に係る設置計画履行状況報告書

※

1 調査対象大学院の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 宇都宮大学

(2) 大学院名

宇都宮大学大学院国際学研究科博士後期課程国際学研究専攻

(3) 大学の位置

〒321-8505
栃木県宇都宮市峰町350

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
学長	(カンノ チョウエモン) 菅野 長右エ門 (平成17年12月1日)	(シンムラ タケオ) 進村 武男 (平成21年4月1日)	平成20年12月9日学 長選考会議選任(21)
研究科長	未定	(キタジマ シゲル) 北島 滋 (平成19年4月1日)	平成17年1月26日教 授会選任 平成19年1月24日教 授会再任(19)
		(オカダ サブロウ) 岡田 三郎 (平成21年4月1日)	平成21年1月21日教 授会選任(21)

(注) 『(3) 大学の位置』は、申請学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成21年度に報告する内容 → (21)

※ 「留意事項報告書」の場合は、タイトルを修正してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成18年度開設の場合(平成21年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際学研究科 国際学研究専攻 (博士後期課程) 博士(国際学)	年 3	人 3	年次 人 0	人 9	基礎となる学部名等 国際学研究科(博士前期課程) 国際社会研究専攻 国際文化研究専攻 国際交流研究専攻 国際学部 国際社会学科 国際文化学科

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) -	(0) 3	(0) 3	(0) 3	1.88 倍	平成19年度開設
志願者数	(-) -	(0) 9	(0) 14	(0) 11		
受験者数	(-) -	(0) 9	(0) 14	(0) 11		
合格者数	(-) -	(0) 6	(0) 7	(0) 4		
B 入学者数	(-) -	(0) 6	(0) 7	(0) 4		
入学定員超過率 B/A	(-) -	(0) 2.00	(0) 2.33	(0) 1.33		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	/	[1] 6	[4] 7	[2] 4	
2年次	/	/	[1] 6	[4] 7	
3年次	/	/	/	[1] 5	
4年次	/	/	/	/	
計	[]	[1] 6	[5] 13	[7] 16	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成18年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	%
	(主な退学理由) 平成19年度開設		
平成19年度	計 [0]	計 [1]	[0] %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 6人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [0]	計 [4]	[0] %
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 6人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 7人	
(主な退学理由) 海外留学希望のため			
平成21年度	計 [0]	計 [7]	[0] %
	うち平成18年度入学者 人	平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 0人	平成19年度 5人	
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 7人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 4人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(例)今年度完成年度を迎える大学

一般的には、平成21年度欄については、入学後1か月程度しか経過していないため、退学者数は「0」や少数であることが想定されます。また、平成18、19年度は原則として昨年度の報告書と同様の記載となります。

2 授業科目の概要

<国際学研究科 国際学研究専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際学 基盤 研究	国際人権保障論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため(20)
	個人情報・情報公開制度論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため(20)
	国際政治学	未開講 ↓		2								履修希望者がいなかったため(21)
	ネットワーク・ガバナンス分析論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため(20)
	地球環境ガバナンス論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため(20)
	国際NGO論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため(20) 教育課程の充実を図るため教員を追加(19) 教育課程の充実を図るため兼任教員を専任教員に変更(20) 〔担当 重田 康博(教授) 平成19年8月 教員審査済 判定 可〕
	湾岸アラブ諸国国民統合論	未開講 ↓		2			1					履修希望者がいなかったため(20) 平成19年4月准教授昇任(19) 〔平成19年8月 教員審査済 判定 可〕
	国際経済学	未開講 ↓		2								履修希望者がいなかったため(21)
	現代アメリカ金融仲介機関論	未開講 ↓		2		1						通常開講(21) 履修希望者がいなかったため(20)
	対人コミュニケーション研究論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため(21) 平成19年4月教授昇任(19) 〔平成19年8月 教員審査済 判定 可〕
	情報ネットワーク研究	未開講 ↓		2			1					履修希望者がいなかったため(20)
	東アジア国際関係史	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため(20)
	現代中国農村社会構造論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため(20)
	日台交流史研究	未開講 ↓		2			1					履修希望者がいなかったため(21)
	北東アジアの国際関係論	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため(20)
	東アフリカ社会開発論	未開講 ↓		2			1					履修希望者がいなかったため(20) 平成19年4月准教授昇任(19) 〔平成19年8月 教員審査済 判定 可〕
	国際下層問題論	1 未開講 ↓		2		1						
	タイ都市社会研究	未開講 ↓		2			1					履修希望者がいなかったため(20)
	海域アジア・オセアニア文化人類学	未開講 ↓		2		1						履修希望者がいなかったため(20)
	国際開発協力論	1 未開講 ↓		2		1						
	知的財産権論	未開講 ↓		2								履修希望者がいなかったため(20)

日本文学比較文化論	未開講 ↓	2	1	↓	履修希望者がいなかったため(20) 平成21年4月1日教授昇任 〔担当 松井貴子(教授) 平成21年1月 教員審査済 判定 可 (21)〕
日韓比較文学研究	1 未開講 ↓	2	1		通常開講(21) 履修希望者がいなかったため(20) 平成20年4月1日教授昇任(20) 〔平成20年1月 教員審査済 判定 可〕
日欧比較文学論	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため(20)
現代表象文化研究	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため(20)
イギリス文化変容研究	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため(20)
アメリカ文化形成論	未開講 ↓	2		1	履修希望者がいなかったため(20)
ドイツ文化思想研究	未開講 ↓	2	0	↓	平成21年4月理事就任のために退職(21)
ドイツ現代文化研究	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため(20)
文化コミュニケーション研究	未開講 ↓	2		1	履修希望者がいなかったため(20) 平成19年10月1日准教授昇任(20) 〔平成19年8月 教員審査済 判定 可〕
言語普遍性と英語研究論	1 未開講	2	1		
多文化教育研究	1 1	2			履修希望者がいなかったため(21)
現代日本語論	未開講 ↓	2		1	通常開講(21) 履修希望者がいなかったため(20)
日本語教育学研究	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため(20)
韓国文化地理研究論	未開講 ↓	2	1		履修希望者がいなかったため(20)
国際学基礎演習	1 2	2	22	4 5	教授の退職及び准教授の教授昇任のため(21) 通常開講(21)
国際学リサーチ演習	未開講 2	2	22	4 5	教授の退職及び准教授の教授昇任のため(21) 2年次生がいなかったため(20) 通常開講(21)
国際学臨地研究	未開講 2	4	22	4 5	教授の退職及び准教授の教授昇任のため(21) 2年次生がいなかったため(20)
特別研究 I	1 2	1	22	4 5	教授の退職及び准教授の教授昇任のため(21) 通常開講(21)
特別研究 II	未開講 2	2	22	4 5	教授の退職及び准教授の教授昇任のため(21) 2年次生がいなかったため(20)
特別研究 III	未開講 3	3	22	4 5	教授の退職及び准教授の教授昇任のため(21) 3年次生がいなかったため(20)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
6	36	0	42	6	36	0	42	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	国際人権保障論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
2	個人情報・情報公開制度論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
3	国際政治学	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
4	ネットワーク・ガバナンス分析論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
5	地球環境ガバナンス論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
6	国際NGO論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
7	湾岸アラブ諸国国民統合論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
8	国際経済学	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
9	対人コミュニケーション研究論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
10	情報ネットワーク研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
11	東アジア国際関係史	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
12	現代中国農村社会構造論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
13	日台交流史研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
14	北東アジアの国際関係論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
15	東アフリカ社会開発論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
16	タイ都市社会研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
17	海域アジア・オセアニア文化人類学	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
18	知的財産権論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
19	芸術文化研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
20	日本文学比較文化論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
21	日欧比較文学論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
22	現代表象文化研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
23	イギリス文化変容研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
24	アメリカ文化形成論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
25	ドイツ文化思想研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
26	ドイツ現代文化研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
27	文化コミュニケーション研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
28	多文化教育研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
29	日本語教育学研究	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
30	韓国文化地理研究論	2	1	専門	選択	履修希望者がいなかったため。代替措置なし。
31	特別研究 III	3	3	専門	必修	3年次生がいなかったため。代替措置なし。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

20年度は、履修希望者がいなかったため又は3年次生がいなかったために未開講となった授業科目が存在したが、履修希望者・該当年次生が存在すれば開講する予定であり、今年度以降も募集は継続する。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{31}{42} = 0.73$$

(注)

- 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消した部分については、黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	複合施設完成による (21)	
	校舎敷地	238,102 m ² 220,087 m²	0m ²	0m ²	238,102 m ² 220,087 m²		
	運動場用地	125,768 m ²	0m ²	0m ²	125,768 m ²		
	小 計	363,870 m ² 345,855 m²	0m ²	0m ²	363,870 m ² 345,855 m²		
	そ の 他	51,766 m ² 35,881 m²	0m ²	0m ²	51,766 m ² 35,881 m²		
	合 計	415,636 m ² 381,736 m²	0m ²	0m ²	415,636 m ² 381,736 m²		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	複合施設完成による (21)		
	132,570 m ² 122,298 m² (122,298 m ²)	0m ² (0m ²)	0m ² (0m ²)	132,570 m ² 122,298 m² (122,298 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	81 室	76 室	347 室	9 室 (補助職員 5 人)	0 室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			申請研究科全体	
	国際学研究科		31 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	国際学研究科	24,017 [11,801] (21,626 [11,204])	111 [77] (102 [68])	3,543 [150] (3,393 [3,223])	239 (239)	1,156 (1156)	0 (0)
	計	24,017 [11,801] (21,626 [11,204])	111 [77] (102 [68])	3,543 [150] (3,393 [3,223])	239 (239)	1,156 (1,156)	0 (0)
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
	8,190 m ²	730	616,000				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
	3,369 m ²	武道館 (869 m ²)	陸上競技場 1面				
		野球場 2面	多目的グラウンド 2面				
		サッカー・ラグビー場 1面	テニスコート 9面				
プール (25m 用)							

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第 2 号 (その 1) に準じて作成してください。
- 2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
- 3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を備考欄に記入してください。
- 4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しした部分については、黒字で記載してください。
- 5 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、《別紙様式 2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	宇 都 宮 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
国際学部			3年次		学士	1.22	平6	栃木県宇都宮市峰町	
国際社会学科	4	50	5	210	(国際学)	1.24		350	
国際文化学科	4	50	5	210		1.19			
小 計	-	100	10	420		-			
教育学部					学士	1.13	昭24	栃木県宇都宮市峰町	
学校教員養成課程	4	150		600	(教育学)	1.13		350	
生涯教育課程	4	-		105		-			平成21年度から学生募集停止
環境教育課程	4	-		75		-			平成21年度から学生募集停止
総合人間形成課程	4	60		60		0.98			平成21年度から学生募集開始
小 計	-	210	0	840		-			
工学部			3年次		学士	1.11	昭39	栃木県宇都宮市陽東	
機械システム工学科	4	79	┌	316	┌	1.09		7-1-4	
電気電子工学科	4	79	┌	316	┌	1.10			
応用化学科	4	83	┌ 30	332	┌ 60	1.07			
建設学科	4	70	┌	280	┌	1.19			
情報工学科	4	74	┌	296	┌	1.10			
小 計	-	385	30	1,600		-			
農学部			3年次		学士	1.13	昭24	栃木県宇都宮市峰町	
生物生産科学科	4	105	┌	420	┌	1.16		350	
農業環境工学科	4	35	┌ 20	140	┌ 40	1.14			
農業経済学科	4	40	┌	160	┌	1.09			
森林科学科	4	35	┌	140	┌	1.10			
小 計	-	215	20	900		-			
合 計	-	910	60	3,760	-	1.13			

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

(大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間(学年進行中の場合は、設置後経過した年数分)における入学定員超過率の平均を記入してください。

入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成〇年度から学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<国際学研究科 国際学研究専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	今井 直 53歳	平成19年4月	国際人権保障論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	杉原 弘修 61歳	平成19年4月	個人情報・情報公開制度論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	中村 祐司 45歳	平成19年4月	ネットワーク・ガバナンス分析論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	中村 洋一 58歳	平成19年4月	地域環境ガバナンス論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	磯谷 玲 46歳	平成19年4月	現代アメリカ金融仲介機関論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	伊藤 一彦 61歳	平成19年4月	東アジア国際関係史 北東アジアの国際関係論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	内山 雅生 59歳	平成19年4月	現代中国農村社会構造論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	田巻 松雄 50歳	平成19年4月	国際下層問題論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	柄木田 康之 51歳	平成19年4月	海峽アジア・オセアニア文化人類学 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						

専任	教授	友松 篤信 58歳	平成19年4月	国際開発協力論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	岡田 三郎 61歳	平成19年4月	芸術文化研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	市川 裕見子 54歳	平成19年4月	日欧比較文学論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	石浜 昌宏 62歳	平成19年4月	現代表象文化研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	高際 澄雄 58歳	平成19年4月	イギリス文化変容研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	渡邊 直樹 55歳	平成19年4月	ドイツ文化思想研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	兼担	教授	渡邊 直樹 57歳	平成21年4月	ドイツ文化思想研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	平成21年4月 理事就任のため退職(21)
専任	教授	若山 俊介 55歳	平成19年4月	ドイツ現代文化研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	佐々木 一隆 49歳	平成19年4月	言語普遍性と英語研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	梅木 由美子 56歳	平成19年4月	日本語教育学研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	教授	佐々木 史郎 55歳	平成19年4月	韓国文化地理研究論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	准教授	中村 真 44歳	平成19年4月	対人コミュニケーション研究論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	教授	中村 真 44歳	平成19年4月	対人コミュニケーション研究論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	平成19年4月 教授昇任(19)
専任	准教授	倪 永茂 46歳	平成19年4月	情報ネットワーク研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						

専任	准教授	松金 公正 39歳	平成19年4月	日台交流史研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	准教授	マリー ケオマ ノータム 45歳	平成19年4月	タイ都市社会研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	准教授	松井 貴子 43歳	平成19年4月	日本文学比較文化論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	教授	松井 貴子 45歳	平成21年4月	日本文学比較文化論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	平成21年4月 教授昇任(21)
専任	准教授	丁 貴連 46歳	平成19年4月	日韓比較文学研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	専任	教授	丁 貴連 47歳	平成20年4月	日韓比較文学研究 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	平成20年4月 教授昇任(20)
専任	准教授	米山 正文 38歳	平成19年4月	アメリカ文化形成論						
専任	准教授	吉田 一彦 45歳	平成19年4月	現代日本語論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専任	講師	松尾 昌樹 35歳	平成19年4月	湾岸アラブ諸国国民統 合論	専任	准教授	松尾 昌樹 35歳	平成19年4月	湾岸アラブ諸国国民統 合論	平成19年4月 准教授昇任(19)
専任	講師	阪本 公美子 37歳	平成19年4月	東アフリカ社会開発論	専任	准教授	阪本 公美子 37歳	平成19年4月	東アフリカ社会開発論	平成19年4月 准教授昇任(19)
専任	講師	ライマン アンド リュウ 36歳	平成19年4月	文化コミュニケーション 研究	専任	准教授	ライマン アンド リュウ 37歳	平成19年10月	文化コミュニケーション 研究	平成19年10月 准教授昇任(19)
兼任	教授	山村 正明 59歳	平成19年4月	知的財産権論						
兼任	准教授	威 傑 45歳	平成19年4月	多文化教育研究						
兼任	講師	重田 康博 50歳	平成19年4月	国際NGO論	専任	教授	重田 康博 51歳	平成19年10月	国際NGO論 国際学基礎演習 国際学リサーチ演習 国際学臨地研究 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ	平成19年10月から専任教授 に変更(教員審査平成19年8 月, 判定可)(19)

兼任	講師	高原 孝生 52歳	平成19年4月	国際政治学						
兼任	講師	増田 正人 46歳	平成19年4月	国際経済学						

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
16	14	30	0	15	15	30	0	
(16)	(14)	(30)	(0)	[Δ 1]	[1]	[]	[]	

(3) 専任教員交代の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	渡邊 直樹	平成21年4月 本学理事就任のため退職
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>渡邊直樹教授について、本学理事就任に伴う退職により専任教員ではなくなるが、履修希望者があれば引き続き授業を開講する予定である。</p>
--

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (18年11月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (19年1月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (20年1月)	宇都宮大学国際学部国際社会 学科の入学定員超過の是正に 努めること。	国際社会学科の入学定員超過 について、以下のとおり是正 に努めた。 平成21年度入学定員50名 入学者数52名 入学定員超過率1.04	

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学研究科博士後期課程 国際学研究専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
① 学長 菅野長右エ門 研究科長 未定 ② 教員の昇任 ③ 教員の退職 ④ 施設・設備 a 校舎敷地 (220,087㎡) b 校舎 (122,298㎡)	① 平成21年4月1日学長及び研究科長変更のため、学長 進村武男 研究科長 岡田三郎 とした。 ② 松井貴子准教授を教授に昇任させた。 ③ 平成21年4月1日付け理事就任に伴い、教員1名が退職した。 ④ 複合施設完成により、以下のとおり変更した。 a 校舎敷地 (238,102㎡) b 校舎 (132,570㎡)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>①実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 ※関係規程等を転載又は添付すること FD研究会 (関係規程は存在しない)</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 毎月1回開催 (国際学部教員を含め、各回平均30名位の教員が参加)</p> <p>c 委員会の審議事項等 カリキュラム改革, 科研費, 広報のあり方等を審議</p> <p>②実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容 ・授業方法・カリキュラムについての研究会 ・授業方法アンケート ・新任教員のための研修会</p> <p>b 実施方法 FD研究会での実施, 学生へのアンケートによる方法等</p> <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む) 主にFD研究会の活動として実施 アンケートは年1回実施</p> <p>d 実施結果を含めた授業改善への取組状況 今後の授業改善についての参考資料とする</p>
--

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成22年度中に公表予定

b 公表方法

- ・外部評価報告書を刊行し、関係機関に配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定(平成22年度)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成20年度に評価機関(大学評価・学位授与機構)の評価を受けた。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (19 年 5 月 7 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/jyouhoukoukai/settikeikaku.htm>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (19 年 5 月 7 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/jyouhoukoukai/settikeikaku.htm>)

- (注) 1 項目は、1～6の項目により記入した事項以外で、認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 記入事項は、原則として、設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、積極的な評価を行う場合、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
記入方法は、欄内には(別紙のとおり)とし、A4版1枚程度で作成した別紙を添付してください。
なお、「B 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」及び「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合は、公表後の取扱いについて記入してください。